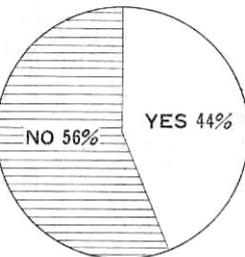


今、三田 高生は：

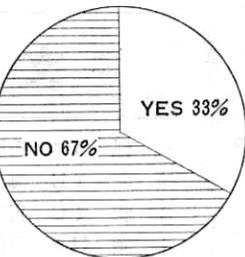
三田高の現状を少しでも知って戴く為に、前回の新校舎に続いて今回は、その構成員ともいえるべき在校生にスポットを当ててご紹介してみよう。そこで、一年生につき二クラスの生徒諸君にご協力をいただき、夢・恋愛・教師・三田高等、数項目についてのアンケートを元に編集したのがこの記事です。ただアンケートの対象が全校の三分の一位でしかないため、データは厳密というわけにはいかぬかも知れません。それでも、現在の三田高生に対するご理解の一助にでもなればと思えます。

教育

Q1 共通一次をどう思いますか。



Q2 学校群をどう思いますか。



受験戦争といわれる昨今どうしても避けて通れない問題があります。前者は来年に廃止の予定で、後者は来年開始早々様々な問題を露呈しています。そんな両者に対して、三田高生は、右のように反対的な解答が多かったです。ただ、その割合が男性に比べ女性の方が強い事も判明した事もここに付記しておく事にします。

教師

三田高生に限らず、学生にとって最も大きな存在、それが教師です。友だちと



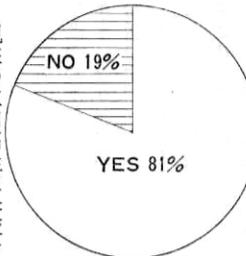
授業が難しすぎる。学年別によると、高校の授業のペースに慣れていない為か、「難しい」と感じたり、「もっとゆっくり」という意見が多い。中には、「冗談を混じえた楽しい授業」という奇抜な案がある。

(二年)
「怠慢」とか、「生気がない」等、情熱不足をあげる人が多数。反面、「過保護すぎる」と解する人も。

(三年)
一年と同じ様な傾向にあるが、「成績による差別を止めて欲しい」「もっと受験指導に力を入れて欲しい」等、勉強面に関する苦言が大多数。大学受験をひかえた微妙な受験生心理の一端がここからうかがい知ることができよう。

校風

Q3 三田高をどう思いますか。



現在の三田高生は母校をいったいどの様に思っているのでしょうか。彼等の生の声を元に、スクールカラーを浮き彫りにしてみます。右のように「三田高が好きだ」と答えた人は全体の九割近くもいます。

「住めば都」ではありませんが、三田高に進むにつれて三田高に慣れ親しんでいくようです。ただ、男女間では多少その過程に違いがあります。女子は、入学時から居心地良く感じるのに対して、男子は最初少々違和感を覚えながらも、次第に愛校心が芽生えてくる傾向にあります。

恋愛

これには、女生数の多いこともあるでしょうが、男女共学である現在もお残る女学校時代の名残ともいえましよう。

単に「三田高が好きだ」といっても学年性別によって三田高に対する感情はかなり違っています。各学年ごとに目立った点をあげてみますと、一年は、下級生ということもあってか、外面的な例え、服装に代表されるように校則が厳しくない事、昨年の本紙に紹介があったように校舎が綺麗で新しい事等に魅力を感じています。反面、そうした恵まれた施設に対して特に男子学生が、校舎が狭い事、そしてまた高い事等にせいたく不満を持っています。

二年生は、三田高生の人間性を通して、三田高の居心地良く感じるようになり、反面、その性質を「無気力で軟弱である」と自己反省しています。

最高学年ともなると、卒業も間近なこともあり、三田高への感慨も一入ものがあります。特に、「無理な抜きで母校だか三田高が好きだ」という解答が多く寄せられた事に集約されています。また、受験をひかえて学校行事やクラブ活動による三田高の帰属意識の薄れを感じる人も少数ながらいる事は、残念だと思えます。

さて、これらの事実を総括すると、三田高は、

- 一、自由である。
- 一、綺麗である。
- 一、平和である。
- (のんびりしている)

以上三点に大別分類できるようです。その他にも「明るい」「楽しい」等があります。



問3 片想いのままにしておきま

すか

グラフに仕上がったのですが、問3は、問2でYESの人対象にしたので、グラフの数が把握できなかったためです。そのため、だいたいの傾向をつかむと女子はYES、男子はNOの方が多いい。という事は男子の方が積極的であると言えます。

特に二年男子はYES対NOが1対6で片想いのまま終わるのが多かったくないというの、圧倒的に多いようです。

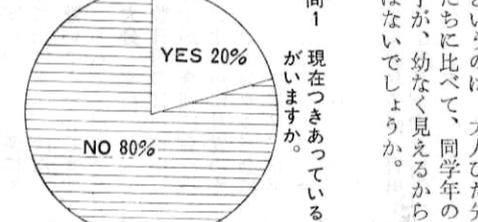
問4 異性に対して望むこと、不満について

この項唯一の記述ですが無回答の者がほとんどでした。現状のままで甘んじているか、もしくは現在の状態に満足なんでしょう。(あるいは、書くのが面倒だったのかも知れません)

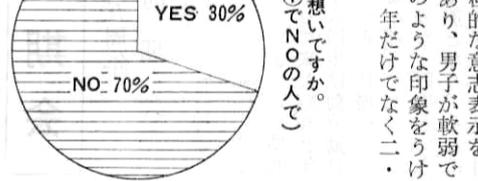
一年男子で回答したのは五名くらいでしたが、その中で「もう少し静かにしてほしい」というのが三名もいて少し注意をひきました。

一年女子の方で目立つのを挙げてみると、

- ・もう少し硬派にかっこよく
- ・もっと男らしく
- ・かっこよく気にならしてほしい
- ・もっと目立ちたい精神をもっとがんばれ
- ・積極的な意思表示があるかのような印象をうけます。一年だけでなく二



問1 現在つきあっている人がいますか。



問2 片想いですか。(①でNOの人)

三年の女子からも自分のポリシーをみつ

- ・中身を勝負
- ・おろかさを自覚して
- ・おろかさを自覚して
- ・おろかさを自覚して

逆にして、男子の方はどうかという、回答があまりにも少なく、何を言いたいのかわかりません。そんな中でも注意をひいたのをあげておくと、

- ・もし異性に対して望む事・不満があれば、それは異性が自分たちに望むこと・不満と同じである。(二年男子)
- ・多くの異性と接している。ろんな考え方を吸収したい。(二年女子)
- ・結婚相手を手を三田でみつけられるか
- ・問5 学内で何組のカップルを知っているか
- ・問6 学内ではNOが圧倒的でした。問6は、情報に明るい人、疎い人によって回答が全然違うので一概に何組といえません。
- ・以上6つの質問をしましたが設問の仕方がまずい事もある、これだという断定はできませんが、少くも三田高生の恋愛観が分っていたら幸いです。

ゆめ

青少年白書によると、最近の青少年の約6割は、将来に夢を持っていないといふことです。三田高生の将来の夢について質問してみました。

生徒のほとんどが、大学、短大への進学希望ですが、それ自体は、画一化されておらず、各々が、各々の夢を大切に抱いて、さしあたっての大学受験に、どう対応してゆくか、それが問題となるようです。

最近、マスコミでさかんに取りあげられる校内暴力は、三田高に関しては、無縁です。明るく平和な校風に対して、「おとなしい」という欠点が言われることありますが、クラブ活動や行事に取り組み熱心さや、女子の多いこと、女子で、「家庭を考えない」と答えた人は少数で、男女平等

の考え方が社会に根づいたためか、「女性だからといって家にひきこもらず、持ちこたえよう」という意見も出ています。三田高生は、学年別の差も、あまりなから、「何ごとでもまだ、これから」のようです。現代の高校生はまだ始まるであって、全学年共通の答として、「とにかく大学へ行くこと」が掲げられるのは、当然なのでしょう。

型破りな若者が少なくないこと、よく言われます。確かに今のアンケートでも、現実的な回答が多くなっています。通産省に入り、金持ちになるという、一つの典型的な生き方を示すものでしょう。

それとは逆に、夢がたくさん有り過ぎて、一つに絞れないという人が、結構いました。卒業後、就職する場合はもちろん、進学する際にも、数ある夢のいくらかを捨てなければなりません。しかし、多くの夢を持ち続けていたほうが、人生は楽しい、素晴らしいものとなるでしょう。「夢を持つ」とは、心の支えである。夢がなければ生きてゆくことはできない。「夢だけでは生きられないけれど、夢なしでも生きられない」とは、これは、模範的な解答です。

極立って注意を引く回答は、生徒たちの夢を「白珠祭や体育祭を単に楽しむ」に留めておられる先輩同輩の諸君の活躍に期待されるところが大だと思います。

最後に

以上は、八〇年十月に在校生各学年二クラスを対象にアンケートした結果から纏めてみた現在の三田高生像です。もちろん、彼等の生の姿は、白珠祭や体育祭をご覧になれば理解いただけます。これをもち三田高生の実態と銘うつつ勇気はあります。おそろしく平和で明るく、上品で自由で、といったイメージは本物なんでしょう。ただ、それなりの「可もなく不可もない」平凡な学校生活は、広く各方面で努力され、おられる先輩同輩の諸君の活躍に期待されるところが大だと思います。

三田高は、今までに数多くの優秀な卒業生を送り出してきました。卒業生はいるる分野で活躍している。現在のところ三田高生が、自分たちの夢を大切に育てていくことを望みます。八十年代のみなならず二十世紀が、どのようなものになるかわかりません。夢を実現するには苦勞や困難を克服しなければならぬでしょう。生徒たちの努力を期待します。

しる就職するにしろ、充分な余力を持って前進できるのは、意外な長所ではないかと思ふのです。だからこそ、在校生諸君が今という貴重な時間を、目先の問題にこだわらず、有意義に過ごしてくれたい、と願っています。

これを読んだ皆さんも、ご自分の人生にとって高校生活は何であつたのか、改めて考え直してみようか。来年度入試から、都立高はグループ選抜となり、学校群は廃止されます。少なくとも、三田高を志望して入学する生徒が増えるのは喜ばしいことですが、それによって、母校の気質に、どんな変化が起こるか、興味あるところですね。

現在、有名大学への進学者数で高校の価値が決まられてしまふ風潮の中にあつて、受験本位の学校ではない母校が、どのようにして真価を問われるのか。それは、広く各方面で努力され、おられる先輩同輩の諸君の活躍に期待されるところが大だと思います。

高三十一回 原 章雄
松岡 一仁
宮島 伸明
渡辺 かおる



支部だより(支部連絡先)

Table listing branch names and contact information for various regions like Hokkaido, Tohoku, Kanto, etc.

北海道 羽田から一時間半... 札幌は、ワカバ会最北の札幌でございます。

細かくて軽い当地の雪はスキー等には絶好の美しい天地となるのですが、私達にはここ暫く悩みの種、今冬は殊に雪が多かったようです。

東北 秋の例会は昨年十月二日に仙台市ホテルにて、新しく二名の参加で二十人が集まりました。

望もよく好評でした。女学校時代にかえり、先生方の様子など、ちょっと話せば時代が異なっても通じる楽しさ。...

この美しい名前の湖は、詩人那須田稔氏の、自然破壊を悲しむ情詩で有名になりました。...

さて浦和支部では昨年十一月十三日(木)に浦和市民会館四階の和室に十数名が集まり、幹事さんのお骨料理をいただきながら楽しい時を過ごしました。

ご案内頂き、気楽に参加させて頂けました。ほんとうに有難いことと存じます。...

秋には嵯峨の小督庵にて例会を開きました。お集りの方々は、いつもお顔を覚えて下さる方々十人程でした。

冬は各地で雪の被害が聞かれましたが、仙台でも十二月の大雪で停電事故が頻りに、電話線が切れたりと、近年にない厳しい冬となりました。

同期会

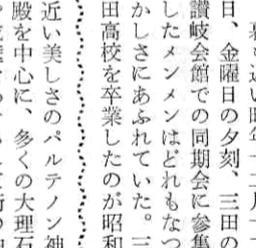
三十五周年 同期会 十八回 西五辻 静子

戦況は日毎に険しく、太平洋戦争もいよいよ末期の様相を呈して来た昭和廿年に私達十八回生は労働員先達の工場から一日帰校して卒業式を挙げました。



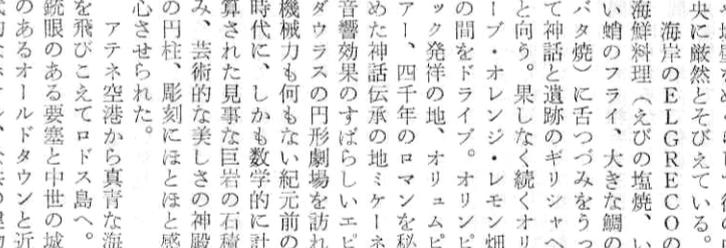
高十八回 同期会のご報告 近況報告もそれぞれ個性があふれ、だてに年輪を重ねているだけではない様子が見え、ひとしきり飲談の花が咲いた。

ワカバ旅行会 パリ・ギリシャの旅 一回生を始めとして、若晴れて暖かい冬のパリを...



近頃美しさのバルテノン神殿を中心に、多くの大理石や城壁をめぐらして街の中心に厳然とそびえている。

冬は各地で雪の被害が聞かれましたが、仙台でも十二月の大雪で停電事故が頻りに、電話線が切れたりと、近年にない厳しい冬となりました。



近頃美しさのバルテノン神殿を中心に、多くの大理石や城壁をめぐらして街の中心に厳然とそびえている。

Table with columns for names, positions, and addresses. Includes a '謹んでお祈りいたします' section.